



9月のおたより

戸山幼稚園
2023年
9月4日発行

暑すぎるほどの夏休み、皆様お元気で過ごされましたでしょうか？“真夏日”を観測することも増えて、熱中症の対策の欠かせない夏でしたね。また、台風や豪雨の影響で被害を受けられた地域も沢山あり、皆様のご家族やご親戚がご無事でありますようお願いしておりました。とはいえ、長い夏休みの間に様々な場所へお出かけされたご家族がたくさんいらっしゃったことと思います。ここ数年なかなか味わえなかった遠出や旅行も、子どもたちの楽しい思い出として発表されることが多く、微笑ましい夏期保育でした。背丈が伸びていたり、真っ黒に日焼けしてたり、張り切ってお喋りしてくれる子も増えていて、今までと顔付きが違う！と感激してしまうほど、再会の喜びを感じた職員一同でした。

そして今年はいよいよ「夕涼み会」を開催することができました！天気心配でしたが、キャンプファイヤーも味わうことができ、子どもたちにとっても特別感たっぷりの時間であったと思います。ご家族揃って浴衣を着て参加して下さる方も多く、最後の夏の思い出になっていたら嬉しいです♪役員さんたちのお手伝いにも、心より感謝いたします！

さあ！2学期がスタートします！！ ～子どもたちはどんな姿を見せながら成長してほくれるのでしょうか？～

1学期の子どもたちは、保育者や友だちに温かく受け入れてもらい、受容されることで少しずつ安定し「不安と混乱」期を乗り越えてきましたね。そして、自分の好きな遊びは何か、やりたい遊びはどこにあるか、見付けられるようになり始め、活動にも意欲的に取り組む姿が増えました。こうした1学期の積み重ねのおかげで、2学期はさほど大きな混乱なく始められることでしょう。

それでも、ちゅうりっぷさん（時にさくらさんも？）の中には長い夏休み明けということで、4月当初のような不安や緊張を感じる子もいるかもしれませんが、こういった姿は毎年見られる姿であり3歳児の特性でもあります。園生活のリズムや、楽しい経験を思い出すことで長立きにならず、今までのペースに戻っていきますよ。そのためには、お母様方も、子どもの世界を守る覚悟で送り出してあげてください。ママのもとに居るのは、何よりの安心安定ではありますが、もう子どもたちはしっかり楽しいことや新しい世界に触れる“力”を持っています！！もちろん個々のペースはありますが、どうぞお母様方が心配しすぎず、焦らずに少し距離を取りながら見守ってあげましょうね！

さくらさん、ゆりさんにとっては長すぎた夏休みだったでしょうか？！子どもたちの姿からは、お友だちに会える喜びや、これから始まる園生活に期待して登園していることがわかります。もちろん個人差があり、不安になる子もいるでしょうが、必ず安定していきますので、こちらも焦らず見守っていきましょう。

さて、2学期は「**自己主張**」の時を迎えます。もう既に突入している子もいますが、自己発揮できるようになった子どもたちは、友達を意識して遊び始めます。既に仲間を意識して生活している年中、年長児は友だちと積極的に関わって遊びます。その中で、楽しいこともたくさんありますが、そうでないこともたくさんあります。その1つが、**友だち同士のトラブル**です。友だちの中で『自分をアピールしたい！優位に立ちたい！』という気持ちが強くなり、

気持ちの食い違いからトラブルに繋がることが増えてたりします。また、自分を正当化しようと“うそ”をつく姿も見られたりします…

大人から見るとこの「**自己主張**」は、あまり良い印象ではないかもしれません。ケンカが多くなって、見ているこちらがハラハラしたり、我が子がワガママに見えたり、意地悪に見えたりするからです。また、それとは逆に我が子がいじめられているのではないかと、友だちと上手く遊べていない…という心配が起るからです。それでは、一体この「**自己主張**」期に子どもたちは何を学んでいるのでしょうか。

- ・自己主張をして・・・自分を受け入れてもらう喜びを学ぶ
- ・自己主張をして・・・自分を受け入れてもらえない悲しさや悔しさを学ぶ
- ・自己主張をして・・・どうしたら受け入れてもらえるか、知恵を働かせて考える

＊お互いに自己主張をしながらケンカをします。悔しい思いをします。悲しい思いをします。そして、仲直りをします。喜びを知ります。共にすることの楽しさを知ります。



幼稚園って、毎日“安心、安全、平和”には進まない世界です。でも、だからこそ成長の機会が詰まっているのです。そんな中コロナ禍を経て、他者を知らずに過ごしてきた子どもたちの世界がいかにも閉塞的かを痛感する職員でした。どうやって物を貸し借りするのか、どうしたら自分の気持ちを分かってもらえるのか、一緒に遊ぶ楽しささえ味わう機会が少ない時代を過ごしていた子どもたちにとって、幼稚園という集団の場では、このように自分の主張を通して初めて経験できることがたくさんあります！一見ネガティブに見える姿でも、“相手を知る・相手を理解する”大切な経験となるのですよね。そして、人との関わり方を学ぶ基礎となっていきます。『人と折り合いをつける』という経験を繰り返すことで、協調性・社会性を身に付け、人としての器が大きくなっていきます。親の目が届かない世界だからこそ、自分なりの経験で乗り越え、価値観を育てていくことができるのです。特に年中・年長さんへと成長していくほどに、精神的にもかなり複雑になり対応も難しくなっていきます。が、私たち大人は自己主張を単なる“ワガママ・意地悪・ただのケンカ”と決めつけず、子どもたちの行動1つ1つに意味がある！という受け止め方をして、子どもの話をよく聞き、気持ちを理解してあげたいものです。タイミングこそ違えど必ず子どもたちが通る道だと受け止め、保護者の皆様にも『叱る・指摘する・諭す』のではなく、どうかありのままを受け止め、信じて見守っていただきたいと思います。

こういった時期は、お子様の姿や言動が掴み切れずに、不安になったりモヤモヤしたりするお母様方もいらっしゃいますが、そんな時は抱え込まずに、お気軽にお声がけくださいね！（朝は保育が始まりますので、ぜひ降園時をお願いしますm(_ _)m)

2学期には、様々な行事が控えております。色々な出来事に会い、子どもたちが自ら心を動かし、感じ取り、答えを探し出せるように大切に励んでまいります。そして、その過程の1つ1つが子どもたちの成長の大きなステップとなるよう、何より友だちと一緒にすることの楽しさを十分に味わって育てて欲しいと願っています。引き続き、子どもたちにとって大切な保育時間を守るため、お手伝いやご協力をお願いすることの多い2学期となりますが、ぜひお力添えをいただけますよう、宜しくお願い致します！



2学期より『お話し窓口』を再開いたします！プール保育の間、お待ちいただいていた皆様や2学期のスタートがご心配な皆様、どうぞお気軽にお声がけください。引き続き、畠野・小林で対応させていただきます。